

書名：續文章軌範百家評註
頁碼：16~17
作者：(明) 鄒守益 編
出版時間：1368~1644

ハウ 釋策 手ヨリハ
ナシ 寸有 所長 品ニ
一寸ノ丈ケノ物ニ
テ計リテ長キアリ
此句前句ニ 用君之
漆ハ説ク
心行君意 意ハソコ
リ吾心ニテ推察シ
テ吾ガソコゴ、ロ
ニ、此事ハナシタキ
トオモフ事ヲ行フ
ハキ
ナリ
遊 前篇至字ニ作ル
前篇ハ叙事ヲ主
トシ傳中ニ此篇ヲ
入ル故ニ省畧又文
字ノ斟酌アリ、例
ニ論スル能ハサル
ナ 前篇漢ニ作ル
リ 前篇漢ニ作ル
譚 前篇漢ニ作ル
故至 於斯屈原曰舉世皆濁我獨清衆人皆醉我獨醒

漁父辭

屈平

後世詞賦ヲ作ル者多ク主客問答ヲ假設ス
皆屈原漁父ノ答問ヲ祖トス然ドモ皆此ニ
出ツ故ニ此ニ其解ヲ畧ス

屈原既放遊於江潭行險澤畔顏色憔悴形容枯槁一
段問答ノ起ル
所以ヲ叙ス 漁父見而問之曰子非三閭大夫與何
故至於斯屈原曰舉世皆濁我獨清衆人皆醉我獨醒

此レ漁父ノ漁スル
所ヲ言フ故ニ還字
ヲ用
濕其泥云々 漁
ニゴラスナリ其泥
ヲ我カ清キ方ニ滌
ヘ又其濁泥ノ波ヲ
モ我ガ方ニ滌ヘ揚
ル前篇ト共ニ深恩高
意異ナリ 深恩高
舉 楚辭及ビ前篇ニ
懷瑾握瑜ニ作ル
範爾 ニツヨリ 鼓枻
舟ヲコス竿ヲナラ
シテコギユク
滄浪 水ノ 纓カ
ノヒモ貴ノ
キモノ
李泰伯 正篇 出ツ 遊 旅
春夜宴桃李園序 李泰伯